



入院患者へのケアカンファレンス実施割合

入院患者へのケアカンファレンス実施割合

分子	内、退院患者の内、医師を含む3種以上の職種にてカンファレンスが行われた患者数
分母	退院患者の内4日以上入院患者数

表示：月平均

種にて行われたカンファレンスを集計しています。結果は、毎年増加傾向にあります。当院では「医師」「看護師」「リハビリ」が主となってカンファレンス対象患者をリストアップし、開催しています。参加者には上記3職種以外に「ケアマネジャー」「患者・家族」「栄養士」「薬剤師」「退院先サービス事業所職員」などが含まれます。

2016 年下がった急性期病棟でのカンファレンスを積極的に実施するよう取り組んだ結果、19%⇒22%に増加しました。

回復期リハ患者に対しては、週一回のADLカンファレンスを行い、リハ効果向上の為、他職種で取組み、在宅へのスムーズ移行につなげています。

また、3階急性期病棟では、疾患や家庭での介護環境、経済状況から退院先がなかなか決まらない患者が多くいらっしゃいます。3階急性期病棟では、退院後の介護サービス事業者や施設職員、患者、家族、と医師、看護師、リハビリ職員による合同カンファレンスの質を向上させ、適切な退院支援につなげる取組を行いました。また、カンファレンスとは別に困難事例検討会を実施し、看護師と医療ソーシャルワーカーが連携し、早期に退院支援を実施していく取組を行っています。

病棟におけるケアカンファレンスとは、医療を提供する関連スタッフが、情報の共有や共通理解を図ったり、問題解決を図る為で開催される会議の事です。

本指標では退院患者の内、医師を含む3種以上の職

